

チェック項目とワンポイントアドバイス

チェック項目		ワンポイントアドバイス	
		いいえ	
建物の状況	新築ですか	建材などからの化学物質の放散が考えられます。	新たな発生源の持ち込みに注意しましょう。
	気になる部屋がありますか	環境測定による状況確認や適切な換気による低減化を行います	濃度の多少はあっても室内空気には化学物質が含まれています。
	最近、リフォームしましたか	建材などからの化学物質の放散が考えられます。	新たな発生源の持ち込みに注意しましょう。
	リフォームの予定はありますか	化学物質の放散が少ない建築材料の開発も進んでいます。 ライオン(http://www.kenkou.metro.tokyo.jp/kanho)を参考にしてください。	信頼できる業者に相談しましょう。住まいの健康配慮ガイド
	各部屋に換気設備はありますか	計画的に運転しましょう。	適切な低減化対策を検討しましょう。
	化学物質を使用する業務の年間計画書はありますか	行事や休みなどを考慮して、作業に立ち会えるよう計画しましょう。	どんな業務を行っているか整理し、進行管理しましょう。
	室内の化学物質に関する資料がありますか	資料を参考に各部屋でどんな化学物質に配慮する必要があるか確認しましょう。	工事関係書類を確認してみましょう。
	室内の化学物質対策を行っていますか	新たな発生源を増やさない発生源対策と濃度を下げるための測定を行えばその効果が検証できます。	低減化対策の両方を検討しましょう。対策の前後に環境
	化学物質の測定をしていますか	化学物質が多く放散する夏場だけでなく、暖房して閉切りがちな冬場の測定も検討しましょう。	施設の利用状況に応じ現状を把握してください。
	子どもの利用状況を考慮していますか	測定器具の配置など子どもの安全にも配慮しましょう。	建物本位になりがちな測定を子ども視点に立って検討してください。
測定の実施と評価	測定方法は適切ですか	施設や利用する子どもを理解している人の意見を参考にしましょう。	厚生労働省などで示している標準的な測定方法を確認しましょう。
	必要事項が記載されていますか	結果の説明を求めましょう。季節や利用状況により室内環境は大きく変化します。	調査時の温度や換気状況などの記録がないと、測定値の評価はできません。
	指針値を超えた原因がわかっていますか	空調管理や部屋の利用方法などを考慮すれば、安全な環境を子どもにも提供できます。	測定は適切な維持管理を行うために実施するものです。原因を調べ対策を講じましょう。
	測定結果を公表していますか	問題がある結果のときは具体的な対策の提案も含めて説明しましょう。	適切な維持管理を示すためにも結果公表を検討しましょう。
	利用時間の換気などは計画的に行っていますか	毎日の利用状況も加味して続けてください。	人による実施に加え、タイマーによる自動運転なども検討しましょう。
維持管理・問題解決	部屋の用途に応じた維持管理をしていますか	新たな備品を入れたり用途が変更になったときは、適切な対応を検討しましょう。	毎日毎時間使用しない部屋は高い濃度のときがあります。
	清掃業務での化学物質の使用状況などを把握していますか	専門的なアドバイスを受けより安全な業務を目指しましょう。作業日時を保護者に伝えましょう。作業への立ち会いを検討しましょう。	室内汚染の少ない材料の使用などが提案できる信頼できる業者を選びましょう。

維持管理・問題解決	実施後の室内環境の状態を予測していますか	化学物質の性状を考え、換気などの低減対策を十分に行いましょう。作業直後の環境測定なども検討しましょう。	実施直後は通常と異なる室内環境の可能性がありません。	
	殺虫業務での化学物質の使用状況などを把握していますか	専門的なアドバイスを受けより安全な方法を選択しましょう。作業日時を保護者に伝えましょう。作業への立ち会いを検討しましょう。	施設内でどんな害虫が発生していますか。必要以上の作業内容になっていませんか。	
	実施後の室内環境の状態を予測していますか	作業内容により換気を十分に行いましょう。作業直後の環境測定なども検討しましょう。	床などに残留する薬剤もあり、長い間通常と異なる室内環境になる可能性があります。	
	各部屋に責任者を選任していますか	その部屋の利用状況を知っている人を選任しましょう。情報を共有しましょう。	部屋の利用状況に応じた管理を目指しましょう。	
	備品や用品の購入に配慮していますか	材料の成分だけでなくそこから揮発する化学物質にも配慮してください。	正確に情報提供ができる納入業者を選びましょう。	
	指針値を超えた部屋の低減化対策を行っていますか	発生原因を除去できなくても、利用時間に適切に換気するなど適切な維持管理で低減化は可能です。	部屋の利用状況に応じた管理を目指しましょう。	
	標準仕様書に化学物質の種類や仕上げ方法などが記載されていますか	施工監理の記録も確認しましょう。	必要な事項を盛り込みましょう。室内環境の原因を知ることがかりになります。	
	作業工程に化学物質の低減化に必要な期間が含まれていますか	この期間は工事の予備日としないよう明記しましょう。	竣工直後の建物使用による健康被害が起きています。二週間以上対策ができるよう計画しましょう。	
	標準仕様書に引き渡し前の環境測定や低減化対策が記載されていますか	利用している状態の環境測定の計画もお忘れなく。	まず、施設の実態把握から始めましょう。	
	利用者等との関係	子どもの健康状態を観察していますか	記録していれば問題発生時に確認できます。	子どもが発するサインを受け取りましょう。
保護者と化学物質に関する意見交換をしていますか		正確な情報を共有することで信頼関係を築きましょう。	保護者会やお便りなどで情報交換しましょう。	
スタッフと化学物質に関する意見交換をしていますか		細かな問題点も指摘しより安全な室内環境を目指しましょう。	人任せにせず一人ひとりが共通認識を持ちましょう。	
子どもに化学物質の正しい情報を伝えていますか		危険性だけでなくその有用性も合わせて伝えましょう。	正しい知識を身につければ、自らリスク回避することも可能です。	
相談・連絡体制を整備していますか		最寄の保健所が室内環境の相談に応じています。	行政や医療機関への連絡などは、被害拡大の防止に必要です。	
測定結果を正確に評価できますか		評価を維持管理に活かしましょう。	測定実施者などから説明を受け、正確に評価することが問題解決の第一歩です。	
化学物質に関する知識を持っていますか		毎日のように新しい情報が提供されています。信頼できる情報源から正確な知識を入手しましょう。	測定実施者などから説明を受け、正確に評価することが問題解決の第一歩です。	
その他				